



大橋 弘 (OHASHI Hiroshi)

東京大学大学院経済学研究科 教授

東京大学経済学部卒業、同大学院修士課程修了。
米国ノースウェスタン大学博士課程修了 (PhD)。
経済学博士。

カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学経営商学部助教授、東京大学大学院経済学研究科 准教授を経て、2012 年から現職。

専門分野は産業組織、競争政策。企業行動や消費者行動の分析を通じて、産業や市場の特性を明らかにし、その政策的な含意を定量的に評価・分析することを中心的な研究課題としている。ネットワーク産業（電力、家電、航空など）や鉄鋼産業を中心に企業戦略やイノベーションが産業構造や社会厚生に与える影響を分析してきた。競争政策においては、企業合併の短期的・中長期的な効果を定量的に明らかにする分析や、法制度に係る研究を行ってきた。

主な論文・著作（邦文）として、『プロダクト・イノベーションの経済分析』（編著、東京大学出版、2014）、『経済学は何をすべきか』（共著、日本経済新聞社、2014）、『モバイル産業論』（共著編、東京大学出版、2010）、「八幡・富士製鐵の合併（1970）に対する定量的評価」（経済学論集、2010）、「農地の転用機会が稲作の経営規模および生産性に与える影響：日本ではなぜ零細農家が滞留し続けるのか」（経済学論集、2009）、「わが国における全量買い取り制度の課題：太陽光発電に注目して」（『環境経済・政策研究』、2011）など。ほか記事、英文論文など多数。

（独）経済産業研究所 プログラムディレクター、公正取引委員会 競争政策研究センター主任研究官、社会資本審議会臨時委員、原子力委員会専門委員、総合エネルギー調査会臨時委員、経済・財政一体推進会議専門委員など。

欧州産業組織学会（EARIE）若手論文優秀賞 2001 年、第 1 回宮澤健一記念賞 公益財団法人 公正取引協会 2010 年。第 3 回 円城寺次郎記念賞 日本経済新聞社 2012 年。第 9 回 石川賞 日本経済学会 2014 年。